

平成 20 年 9 月 26 日（金）

独立行政法人 労働政策研究・研修機構（JILPT）  
（理事長 稲上 毅）  
担当：キャリアガイダンス研究部門  
統括研究員 西村公子  
副統括研究員 松本真作  
電話: 048-463-1320（ダイヤルイン） Fax 048-463-1375  
メール: s\_mat@jil.go.jp

## 総合的職業情報データベース「キャリアマトリックス」新版公開 最大級の職業情報データベースと関係ツール群

### 【要 旨】

独立行政法人労働政策研究・研修機構は総合的職業情報データベース「キャリアマトリックス」の**新版**を、インターネットを通じて、9月29日より公開する。

「キャリアマトリックス」は現代の**主要職業 500** について、仕事内容、就業経路、統計情報、各種特性、入職要件等の情報を職業の写真とともに提供する、**最大級の職業情報データベース**といえる。

現在のキャリアマトリックスは2006年9月の公開から2年が経過しているが、今回、若年対策として、若者の利用を促進する機能、また、企業での利用につながる機能、職業情報についても課業（task）リストの提供を初めて行う等、新たな機能や内容を加えた**新キャリアマトリックス**として公開するものである。

新キャリアマトリックスは、従来通り**インターネットによりどこでも誰でも 24 時間、無料で**利用することができる。

### 【概 要】

#### 1．キャリアマトリックスとは

労働政策研究・研修機構では2006年9月よりインターネットを通じて、総合的職業情報データベース「キャリアマトリックス」を一般公開してきたが、このたび、若者向け、企業向け等、新機能を追加するとともに、職業情報についても、各職業の課業（task）を新たに網羅した**新キャリアマトリックス**を開発し、9月29日（月曜）午前9時から公開を開始する。

当機構は以前から、「職業ハンドブック」等の冊子やCD-ROMにより、関係分野の基盤となる職業情報を提供してきたが、これをインターネットのサイトとし、各種の自己診断ツールとともに提供したものである。システムは労働市場における効果的な求人求職、キャリア形成等を支援することを目的としている。

キャリアマトリックスは約500の職業に関して仕事の内容や就職経路、その後のキャリア、労働条件の特徴、必要なスキルや知識等の情報を数値化した「職業プロフィール」等を、職場の写真とともに提供しており、提供している情報の量と豊富さにおいて、世界的にみても**最大級のサイト**といえる。

新キャリアマトリックスの機能や内容、これまでの経緯や開発は以下の通りである。

#### 2．新「キャリアマトリックス」の機能と内容

新キャリアマトリックスでは、従来の機能、内容に加え、次のような点を強化、充実している。

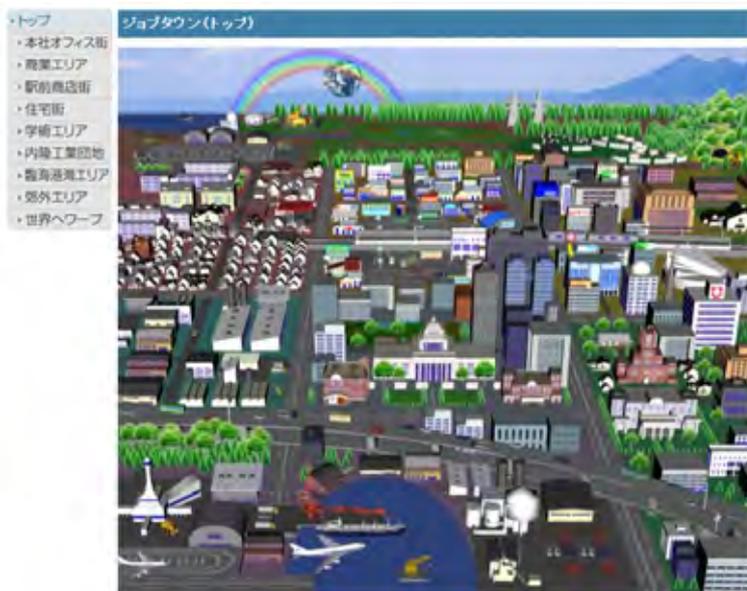
### A) 若者向け新機能

新キャリアマトリックスではこれまでの機能に加え、若者向けの機能として「職業ギャラリー」（職業をフォトギャラリーのように一覧表示）や「ジョブタウン」（仮想の街を画面に表示しそこで職業探索）を提供する。

さらに、若者向けにキャリアマトリックスの携帯電話版を「キャリアマトリックス・モバイル」として新たに開発した。この携帯版は近日公開される厚生労働省のサイトのなかから提供される。



職業ギャラリー



ジョブタウン

### B) 企業向けの新機能

新たに、「人材採用支援システム：職務要件の作成」と「人材開発シミュレーション：職種転換の検討」も提供する。前者は企業が求人を行う際、必要とする職務要件を明確化するためのツールであり、後者は企業等が現状の人材を新規事業等で活用するためのツールである。

ガイド

**人材採用企画書**

職務要件  
 職業名  
 仕事内容(課業)  
 必要なスキル

労働条件  
 賃金  
 勤務時間  
 勤務場所  
 ●  
 ●  
 ●

人材採用にあたっては、職務要件の中核となる職務能力を明確にすることが必要です。

ここでは簡単な操作で仕事に関連した職務要件(職業名、仕事内容、必要なスキル、知識等)が作成できます。

(活用例)  
 ・仕事内容や必要なスキル他を明確にし、適切な人材を採用したい。  
 ・今まで採用していなかった職種を募集する。仕事内容や必要なスキルは、「事務」や「販売」ではなく、もう少し詳細に仕事の内容を書きたい。

- ステップ1 **近い職種を選択**  
 求める人材に近いものを約500職種のなかから選択。
- ステップ2 **職務要件の編集**  
 選択した職種を元に、職務要件を修正、追加。
- ステップ3 **職務要件シート表示**  
 職務要件シートが表示されます。職務要件は保存ワード等で編集することもできます。

人材採用支援システム：職務要件の作成

ガイド

**人材能力比較**

現在の人材と必要な人材のプロフィールを比較。アピールポイント(強み)とチャレンジポイント(弱み)がわかります。

(活用例)  
 ・プログラマーを目指したい。  
 ・新事業に転換し仕事が変わる。今の人材がいかに活用するか。  
 ・生産工程の人材をサービスや介護の分野で活用したい。

- ステップ1 **現状の人材**  
 現状の人材のプロフィール(仕事内容、スキル、知識等)を作成。
- ステップ2 **必要な人材**  
 必要な人材のプロフィール(仕事内容、スキル、知識等)を作成。
- ステップ3 **プロフィール比較**  
 現状の人材のプロフィールと必要な人材のプロフィールを比較。

人材開発シミュレーション：職種転換の検討

C) **利用者別メニュー**

若者向けや企業向けの機能を追加したため、新たに利用者別メニューを用意することとした。「求職者、在職者」「生徒、学生、若者」「教育、キャリア相談担当」「企業の人事担当」の4つに分れており、将来的には内容面でもさらに充実させ、それぞれの利用者が必要とする情報をシステムティックに提供することを考えている。



#### D) 相談窓口マップ検索

最寄りのハローワークや関連機関を近いものから検索し、地図上で示す機能である。インターネットからの情報だけに頼ることなく、関係者や専門家に会い、また、実際の職場等も訪問するなど、サイト以外の情報も積極的に活用するよう、行動を起こすことを支援している。



#### E) 課業を加えた職業情報

提供する約 500 職種の職業情報は更新しており、また、各職業を多面的に数値化した職業プロフィールの元となるデータも、その後の蓄積により、より確かなものとしている。

今回新たに、全職業を網羅した課業(task)のリストを提供する。各職業それぞれ 10~20 の課業が表示され、すべてを合計すると約 1 万を超す課業となる。課業は後述の Web 職務調査でデータを収集した、現職者約 26,124 名の回答より作成している。現職者のデータに基づく課業をこれほど網羅的に提供したものはこれまでない。

### 3 . 職業情報の内容

収録職業 500 職種は、労働市場における主要職種の約 9 割をカバーしている。画像・統計等を含む記述内容においては日本における最大級の職業情報であった旧労働省監修職業ハンドブック(1998 年 300 職業・A4 版 811 頁・旧日本労働研究機構刊)の約 6 倍にあたる情報量を有している。前述のように、さらに今回、各職業の課業(task)リストの提供を行うこととした。また、職業情報は、常に最新のものとなるべく更新作業を継続している。

「**どんな職業か**」……主要な業務をもとに仕事内容を写真とともに解説

**課業(task)リスト** 各職業10から20の課業をすべての職業について提供。課業とは職務を作業内容に分解したものであり、仕事内容を明確にすることができる。

「**就くには**」……その職業に就くための要件や資格を解説

「労働条件の特徴」……特有の労働条件・就業状況・雇用見通しなどを解説し、賃金・就業者数・賃金データ等を図示

「職業プロフィール」……職業興味や価値観・必要なスキル・知識などその職業固有の特徴を数値で表示

「参考情報」……関連職業、資格情報、各職業の関係団体のHP等へのリンク

「看護師」の仕事内容(課業リスト)

1. 病院・診療所・社会福祉施設などにおいて、医師の診療を補助し、処置
2. 患者の診療記録や経過をカルテに記入し、整理する。
3. 患者の顔色や患部の様子を観察し、健康状態や症状をチェックする。
4. 患者の体温・脈拍・血圧を計測し、健康状態や症状をチェックする。
5. 医師の指示を受けて患者に薬の塗布、注射、吸入、吸引、点滴などの処
6. 患者に検査の指示を伝え、結果を確認する。
7. 患者に服薬の方法や注意事項の指導をする。
8. 入院患者を見回り、体温・血圧・脈拍を定期的に測定し、変化があれば医
9. 入院患者の服薬や食事・排泄の介助など日常の世話をする。
10. 寝たきりの入院患者の体位変換をする。
11. 診療に用いる医療品の準備や補充などを在庫を管理し記録する。
12. 病室や処置室の準備、器具・装置・備品の管理をする。
13. 手術室への患者の搬送や手術中の執刀医への器具の手渡しをする。
14. 病院や施設で、感染予防の措置を患者や外来者に指導する。
15. 地域や学校で、衛生管理・病気予防・家庭看護などの相談に応じる。
16. 家庭看護の契約をしている患者を訪問し、所定の処置や健康のチェックをする。

職業とキャリアに関する総合情報システム  
CAREER MATRIX

労働政策研究・研修機構 閉じる

トップへ | メールで通知 | マイリストに追加 | マイリストを開く

看護師

△専門的・技術的職業  
↳ 09 保健師(士)、助産師、看護師(士)  
↳ 093 看護師・看護士

| どのような職業か | 就くに | 労働条件の特徴 | 職業プロフィール | 参考情報 | 印刷

どんな職業か

社会の様々な場所で、病気やけがの治療を受ける人々や介護を必要とする人々、体や心の健康上の様々な問題を抱えながら生活する人々を看護や診療の補助などを通じて支える。

病院・診療所などの医療施設では、患者への医療の提供に、医師・薬剤師・栄養士・臨床検査技師・理学療法士・作業療法士・医療ソーシャルワーカーなどの専門職種とともに医療チームの一員として参加する。現代医療には、救命救急医療・高度先進医療・リハビリテーション・生活習慣病の管理・精神医療・終末期医療など多様な側面があり、医師が診断・治療を行う際の補助の役割を求められることが多い。介護保険施設・社会福祉施設では、医療施設と比べて医師の関与が少ないため、看護師は日常的な医療管理や緊急時の判断を求められることが多い。訪問看護ステーションの看護師は患者宅を訪問してケアを行うほか、家族への支援も行う。学校や企業の健康管理部門では健康管理や心身の保健相談に当たっている。

どのような領域にあっても、人々の食事や睡眠、排泄などの営みが、安楽に、またその人らしい尊厳を保ちながら行われるよう支援すること(療養上の世話)は、患者やその家族への心理的なサポートとともに、看護師の仕事の中でも重要な位置を占めている。現在これらの業務は科学的な根拠に基づいて人々に提供されている。またケアの受け手との間での確かなコミュニケーションを図る能力も求められている。

>>この職業の用語集 >>仕事の内容(課業リスト)

類似職業  
>>助産師(A092)  
>>保健師(A091)

利用者ビュー(関連して多く見られている職業)  
>>保健師  
>>臨床検査技師  
>>薬剤師

## 4. キャリアマトリックスのツール群

システム全体としては次のようなツールを提供しており、このうち New!となっているものが今回、新たに提供するものである。

キャリアマトリックス・ツール	
汎用	求職者、在職者向け
学生	生徒、学生、若者向け
教員	キャリアカウンセラー向け
企業	企業の人事担当者向け

職業理解	
<b>職業検索</b>	職業名や概要内容から職業を検索し、職業についての詳細情報を表示します。
<b>職業ジャンル</b>	キャリアマトリックスに登録されている職業の写真を一覧表示しています。写真を見て、気になる職業の情報を見てみましょう。
<b>ジョブタウン</b>	ジョブタウンのイラスト地図を見ながら、気になる場所で働く職業を探してみましょう。

自己理解	
<b>価値探索ナビ</b>	「興味」や「ワークスタイル」などから、あなたに合う職業を探します。
<b>キャリア分析ナビ(ベーシック版)</b>	これまでの履歴から「スキル」などを推定し、アピールポイントや合っている職業を見ることができます。
<b>キャリア分析ナビ(アドバンス版)</b>	これまでの履歴を「スキル」などへ分解・分析し、気になる職業との適合度を比較できます。 ※追加に詳しい説明が添付します。無料のベーシック版と違ってから、ご利用下さい。

人材管理	
<b>人材採用支援システム</b>	キャリアマトリックスの約500の職業情報を元に、職務要件(仕事内容、必要なスキルや知識、資格)を明確化します。
<b>人材活用シミュレーション</b>	社内の現状の人材と行業のあるべき姿を客観的に比較でき、人材の活用、教育訓練などの検討ができます。

New!

New!

New!

New!

## (参考)

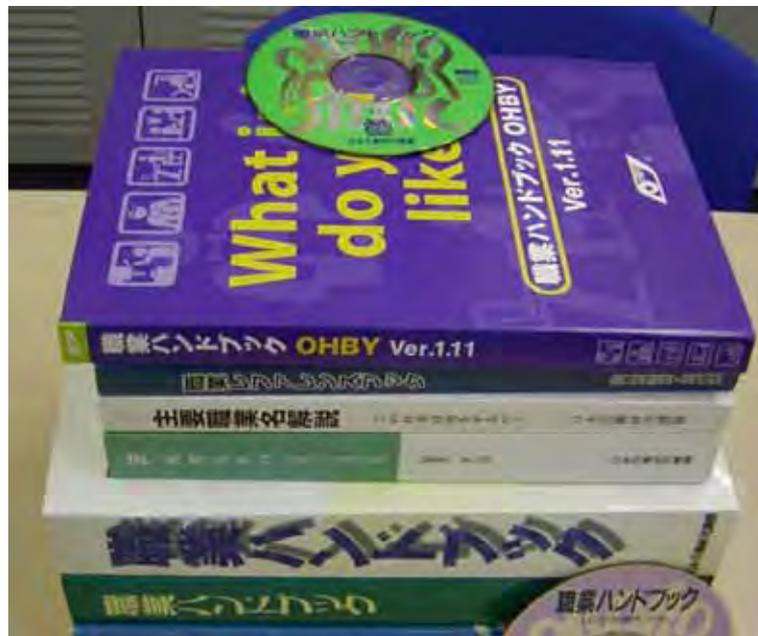
### 1. これまでの経緯と開発方法

当機構では以前から求人求職、キャリア形成支援等の基盤となる情報として、職業情報を収集、編集し、提供してきた。ここではこれまでの経緯と新キャリアマトリックスの開発方法等について説明する。

#### A) これまでの経緯

キャリアマトリックスの研究開発が始まったのは2000年である。当初、欧米や北欧等、各国公的機関による職業情報提供システムの動向等を調査している。2002年度、システム開発の基本的な構想が決まり、2003年よりシステム開発と職業情報等の収集を行い、2006年に一般公開を開始した。今回、上述の新機能を加え新キャリアマトリックスとして公開するものである。

キャリアマトリックス開発以前、当機構では職業ハンドブックやOHBYとして冊子、CD-ROM等により、求人求職、キャリアガイダンス、能力開発等の基盤となる情報を提供してきた。



#### B) システム開発

専門家、学識経験者、関係団体等からなる委員会を設置し、開発の方向性を審議し検討した。そしてその方向性に沿って、これまでに200回に及ぶ、開発チームによる検討会議を重ね、試作、検証を行い、システムを開発してきた。また、外部専門機関によるシステムに対するユーザビリティの客観的な評価と確認等も行った。

さらにシステムが大方できあがった段階で関係者に開示し、問題点がないか、具体的な利用活用場面はどのようなものとなるか等ヒアリングを行ってきた。

#### C) 職業情報等の収集

各職業の関係機関を訪問し、職業に関する情報や資料、写真等を収集するとともに、調査会社のWebモニターを用いて、現職者から情報収集を行った。これまでに協力をお願いしたWebモニタ

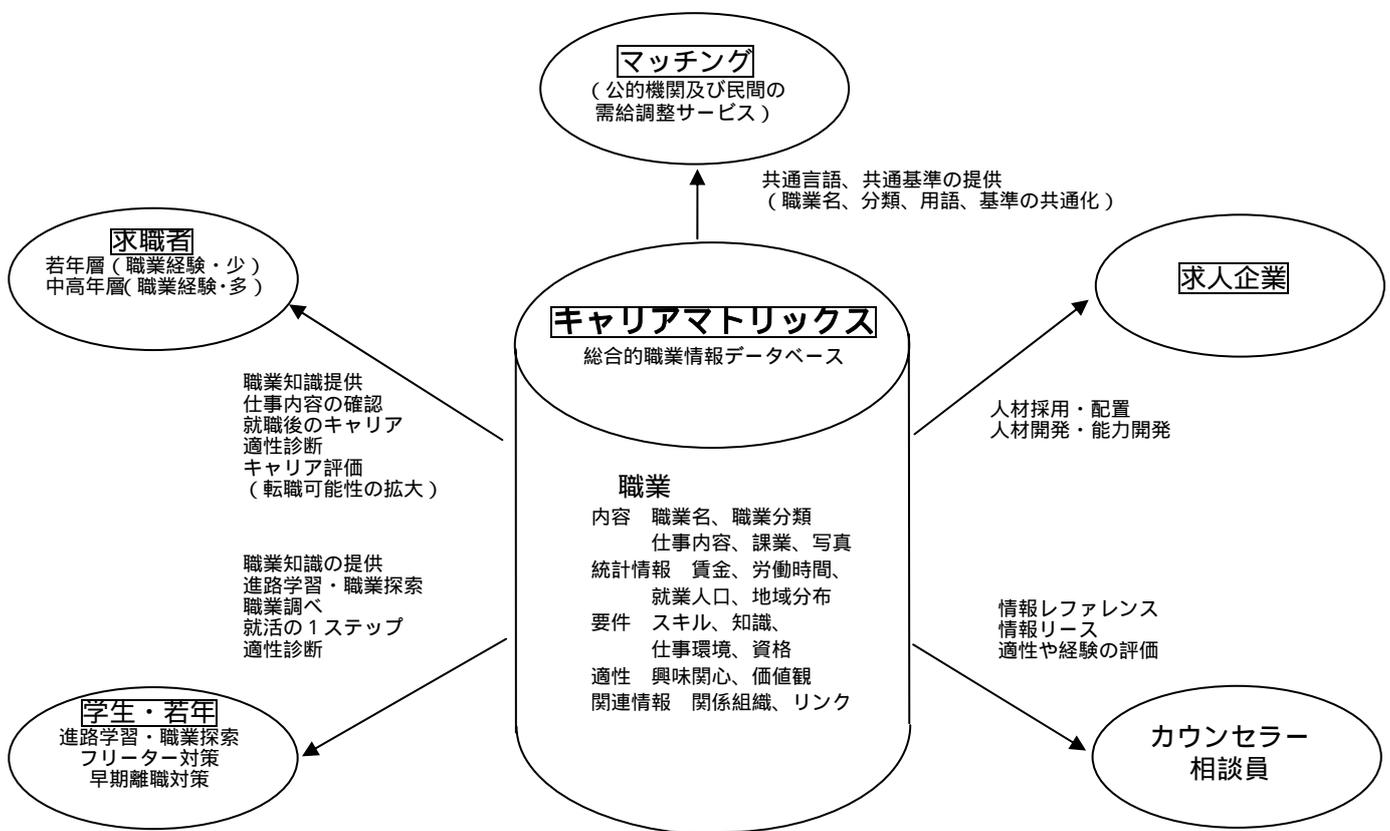
ーは 300 万人近い数となっている。この Web での調査では各人の現職を聞き、その現職に関して、課業リストの確認、仕事をする上で重要なスキルや知識、仕事環境等の評価をしてもらっている。

このようにして得られた情報から職業情報の中の「職業プロフィール」が作られ、今回、新たに提供する「課業 (task) リスト」を作成している。

## 2. 利用活用状況

2006 年 9 月の一般公開以降、ページビュー累計は 3800 万、ビジット (訪問) 累計は 150 万となり、多くの利用がある。現在もアクセス数は伸び続けており、職業やキャリアの百科事典としての認識が定着すれば、まだまだ利用は増加すると考えられる。

キャリアマトリックスの利用活用を図式化すると下図のようになる。



## 3. キャリアマトリックスの運用体制等

キャリアマトリックスは労働政策研究・研修機構によって、継続して情報の更新、運用を行っている。キャリアマトリックスでは、下記アドレスの二つのサイトから同じ内容を提供している(ミラーサイト)。利用の集中やメンテナンス等によるサービスの停止がないよう、別々に設置した複数のサーバより情報提供を行っている。システムの運用に関して、運用チームを作り、常時監視、障害の事前対処等にあたっている。

システムに搭載される情報内容、コンテンツに関しては、当機構内にチームを作り、常に情報の収集、更新等にあっている。

**キャリアマトリックスのアドレス**

**<http://cmx.vrsys.net>**

**<http://cmx.hrsys.net>**

同じアドレスで9月29日午前9時から新キャリアマトリックスに版に切り替わる。